



第7回「おたる案内人」検定試験問題 1級・2級 共通問題

2010年3月28日

小樽観光大学校

*合格発表は下記のホームページでご確認できます。
*URL:<http://www.otaru-kd.com/>

各設問で選択問題は1～4の番号で、また記述問題は該当する語句を解答用紙に記入しなさい。(制限時間90分)

問1

明治から大正時代にかけて、北海道の鯵漁は特別の需要があり盛んになりました。その需要とは何でしょうか。

1. 燃料 2. 飼料 3. 肥料 4. 加工食品

問2

現在の小樽の開基は松前で生まれた山田兵蔵が小樽に住み着き、村の名主となった年とされています。その年とは次のどれでしょうか。

1. 文化2年(1805) 2. 元治2年(1865)
3. 嘉永2年(1849) 4. 安政2年(1855)

問3

明治2年は、大きな出来事があった年です。明治2年とは関係のない出来事は次のどれでしょうか。

1. 北海道に開拓使設置 2. ペリー来航
3. 蝦夷地を北海道と改称 4. 場所請負制度廃止

問4

内陸の幌内から石炭を輸送する目的で、まず明治13年、手宮から札幌までの鉄道が開通しました。その後、幌内まで開通したのは明治何年でしょうか。

問5

お雇い外国人ホーレス・ケプロンはアメリカから優秀な人材を呼び寄せ北海道開拓に力を発揮しました。呼び寄せた外国人のなかで、幌内炭田はじめ地質調査で活躍した人物は誰でしょうか。

問6

明治から大正にかけて、戦場になった国で不足する穀物を買占めて「豆成金」「小豆將軍」といわれた商人の名前は何でしょうか。姓・名両方を書きなさい。(姓のみ不可)

問7

明治から昭和初期にかけて繁栄を続けた小樽ですが、第二次大戦を挟んで、斜陽化していきました。その原因で間違いはどれでしょうか。

1. 鯵の商品価値の減退と不漁 2. 敗戦による北樺太の喪失
3. 海路から陸路への転換 4. 様々な商業機能が札幌に移った

問8

鯵漁期中に見られた「群来^{くき}」という現象は次のどれでしょうか。

1. 海岸に鯵が積み重なった 2. 鯵の白子で海が白くなった
3. 大漁で網が上がらなくなった 4. 大群を見に来た人で浜が大混雑になった

問9

次の文章は、小樽の鯵漁獲高についての傾向を表しています。()内に該当する語句を選びなさい。

明治20年代は(A)、明治30年代は(B)、大正時代は再び(A)となりましたが、昭和に入り豊凶の波が激しくなりました。

- A 1. 絶好調 2. 好調 3. 低調 4. 若干低調
B 1. 絶好調 2. 好調 3. 低調 4. 若干低調

問10

祝津の飲食店「群来陣」は、かつて祝津の大漁家の番屋として建てられました。その漁家名を書きなさい。

問11

小樽の強みとして、小樽の鯺漁家が遠隔地にも漁場を経営できた理由は次のどれでしょうか。

1. 安定した漁獲と消費地に近かったこと
2. 魚肥の高い需要と運河の存在
3. 安定した漁獲と造船技術
4. 安定した漁獲と魚肥の高い需要

問12

小樽市の平磯岬にある「銀鱗荘」猪俣家住宅は昭和13年に移築されました。元々はどこにあった建物でしょうか。町村名を書きなさい。

問13

番屋の語源の文章です。()内の該当する語句を選びなさい。

江戸時代、場所請負人が拠点とした(A)から派遣された(B)が、漁を行ったり漁民を監視した小屋「番家」が語源です。

- A 1. 運上屋 2. 幕府 3. 開拓使 4. 藩
B 1. 親方 2. 漁夫 3. 船頭 4. 番人

問14

幕末のオタルナイ場所を請負っていた商人は次のどれでしょうか。

1. 西川家
2. 田中家
3. 猪俣家
4. 岡田家

問15

鯺漁で「網下ろし」と呼ばれる言葉の意味は次のどれでしょうか。

1. 起こした網をもう一度、海にもどすこと。
2. 網を海岸に引き上げ整理すること。
3. 鯺漁の準備を終えて豊漁を祈願する大宴会のこと。
4. 鯺漁が終了し、網をしまうこと。

問16

次の文章は沖揚げ音頭のなかの一つです。うたわれる唄は何というでしょうか。

「網の目をふさぐほど付着した卵を網から落とすため、浜辺へ引き上げ、棒切れで網を叩く作業の際に唄われました。」

問17

次の文中の()内に当てはまる語句を書きなさい。

明治20年代、身欠鯺は日本海沿岸の松前から小樽までの広い地域の特産品でしたが、なかでも良質な製品は小樽及び()産のものとされました。

問18

江戸時代の北前船の航路として正しいのは次のどれですか。

1. 東海路
2. 西海路
3. 南海路
4. 九州海路

問19

北前船主が北海道で仕入れ、本州まで運んだ主なものは何だったでしょうか。

1. 木材
2. 塩
3. 紙
4. 魚肥

問20

北前船の特長として正しいのは次のどれでしょうか。

1. 東北・蝦夷地から江戸が航路
2. 買い積み
3. 500石以上の大型船
4. 大坂商人

問21

北前船主は、積荷を短期間に売り尽くせない場合もあるので、荷物の保管を目的に倉庫を建てました。この業務をなんといいましたか。

問22

明治末期から北前船は衰亡していきました。その理由として正しくないのは次のどれでしょうか。

1. 大型の蒸気船が登場してきた
2. 鯨漁の不漁とともに綿花の輸入で魚肥の需要が減った
3. 北前船は危険なので船乗りが、急激に減った
4. 通信技術の発達で北前船商人の情報より早く行き交うようになった

問23

小樽には「小樽商人」とか「樽僑」と称される巨万の富を築いた商人が数多くいます。その彼らの出身地によりこんな俗諺があります。空欄に語句を入れなさい。

*地均近江 種蒔() 肥料加賀 刈取越後

問24

次の北前船主は誰でしょうか。

加賀橋立出身で北前船主、西谷庄八とともに小樽倉庫を建設します。夜景で有名な函館山はかつてこの人物が所有していたともいわれています。

姓・名両方を書きなさい。(姓のみ不可)

問25

北前船主、大家七平が建てた倉庫は今も運河沿いに残っております。越屋根の妻面に大きな印が掲げられていますが、その印の読みは何というのでしょうか。

問26

小樽運河北浜にある北前船主等の倉庫が3棟並んで残っています。運河に近い方から増田倉庫、広海倉庫です。最も総合博物館寄りの倉庫を建てた北前船主は次のどれでしょうか。

1. 中村三之丞
2. 西川伝右衛門
3. 右近権左衛門
4. 寿原外吉

問27

江戸中期から鯨場の管理をする「場所請負人」として、小樽には二組の商人がいました。それはどこの商人でしょうか。

1. 松前商人
2. 近江商人
3. 加賀商人
4. 越後商人

問28

昭和6(1931)年新年号講談倶楽部「小樽市金満家名簿」において3位で、日本の醤油御三家と呼ばれた近江彦根出身の人物は誰でしょうか。

1. 岡田弥三右衛門
2. 板谷宮吉
3. 石橋彦三郎
4. 藤山要吉

問29

中江兆民を招き小樽で最初の新聞「北門新報」を発行した商人は誰でしょうか。姓・名両方を書きなさい。(姓のみ不可)

問30

山田兵蔵の養子で小樽商業会議所の初代会頭や、第2代小樽区長だった商人は誰でしょうか。姓・名両方を書きなさい。(姓のみ不可)

問31

加越能資本の銀行の建物は今も残っております。現在、北海道紙商事(株)として再生利用されているのは、次のどれでしょうか。

1. 十二銀行
2. 第四十七銀行
3. 中越銀行
4. 北陸銀行

問32

メルヘン交差点のオルゴール堂の建物は共成の社屋でした。この共成を興した商人は精米業で成功し雨竜郡を開墾した際、この商人の偉業を偲んで町名がつけられたといわれています。この商人とは誰でしょうか。姓・名両方を書きなさい。(姓のみ不可)

問33

小樽高等商業学校の土地（現在の小樽商科大学の土地）を寄付した商人は誰でしょうか。

1. 倉橋大介
2. 土肥太吉
3. 木村圓吉
4. 渡辺兵四郎

問34

小樽港の港界線の説明です。（ ）内に該当する語句を記入しなさい。

小樽港は高島の（ ）から平磯岬に引いた直線（港界線）の内側をいいます。

問35

（ ）内に該当する語句をどれでしょうか。

小樽港は明治22年に特別輸出港となります。特別輸出港とは米、麦、麦粉、（ ）、硫黄の5品目に限り、日本船または日本人雇用の外国船により輸出ができる港です。

1. 酒
2. 石炭
3. 石油
4. 豆

問36

小樽港が近代的な港湾として整備が始まったのは明治時代の小樽築港第一期工事でした。

小樽築港第一期工事について説明したもので正しいのはどれでしょうか。

1. 小樽に利権を持つ小樽商人の財力によって、商人たちの資金でつくられた。
2. 国内最大級の本格的な外洋防波堤建設工事であり、国家的なプロジェクトとして国費で建設された。
3. 北海道から利益を得ようとした外国人が外国の技術者を連れてきて建設をした。
4. 釧路港や苫小牧港などの整備が終り、予算が余ったので小樽港の工事が始まった。

問37

北海道遺産や土木学会の選奨土木遺産に認定されている小樽港北防波堤は、当時の土木技術の粋を集めて建設されました。以下の説明で正しいものはどれでしょうか。

1. 北防波堤は第二次世界大戦前の古い技術によるものなので、今の防波堤はすべて造りなおしている。
2. 日本の技術者では近代的な防波堤を造ることができなかったので、お御雇外国人のケプロンが設計し、アメリカ開拓で用いた工事手法を導入して建設に成功した。
3. 榎本武揚が推奨したコンクリートを使った防波堤建設が失敗に終わったので、全て石積みによる防波堤を建設した。
4. 農学校教授であった廣井勇が初代の築港所長となり、様々な調査や実験を経て、日本で初めてのコンクリートを用いた外洋防波堤の建設に成功した。

問38

小樽築港第二期工事で南防波堤が建設されました。この時、鉄筋コンクリート造の箱状あるいは円筒状の構造物を水中に沈下させて建設しました。この構造物の名称は何というでしょうか。

問39

小樽の港づくりに多大な功績を残した廣井勇についての説明です。間違っているものはどれでしょうか。

1. 廣井勇は札幌農学校の卒業生で開拓使で鉄道工事に従事し、橋の設計を担当した。
2. 廣井勇はアメリカに渡り図面工をしながら鉄橋の教科書を書いた。
3. 廣井勇は薩摩藩出身で、幼くして父親を亡くし、苦学した。
4. 廣井勇は札幌農学校教授や小樽築港事務所長、東京帝国大学の教授を歴任したわが国を代表する技術者であった。

問40

若竹、勝納地区に面積48万平方キロメートルの巨大埠頭が計画され、東京以北ではじめて3万トン級の大型船が接岸できる埠頭が完成しました。それはいつでしょうか。

1. 1950（昭和25）年
2. 1970（昭和45）年
3. 1982（昭和57）年
4. 1989（平成元）年

問41

北海道開拓に関わった人物とその主な役割の組み合わせで間違っているのはどれでしょうか。

1. 榎本武揚・・・初代開拓使長官
2. ライマン・・・地質学者
3. ケプロン・・・開拓使顧問
4. クロフォード・・・鉄道技師長

問42

北海道の最初の鉄道、幌内鉄道建設のために設けられた開拓使の部局はどれでしょうか。

1. 北海道開発局
2. 幌内煤田局
3. 煤田開採事務掛
4. 工部省鉄道局

問43

開拓使による石炭搬出工事は水運を中心に計画され、その中心となったのは、オランダの河川工学の専門家ヨハン・G・ゲントでした。しかし、根本的な問題が水運案にはありました。その問題とは次のどれでしょうか。

1. 大量運搬のできる蒸気船を開発しなければならなかった。
2. 砂がたまりやすい石狩川河口では常に港の浚渫が必要だった。
3. 河口の鯺漁場の漁家から反対された。
4. 融雪期の洪水など治水対策が重要だった。

問44

次の（ ）内に該当する数字を記入しなさい。

明治12年、開拓使はクロフォードに札幌間に車馬道の建設を命じ、クロフォードはこの工事を（ ）ヶ月間という驚異的な日程で明治12年12月に完成させます。

問45

幌内鉄道開通（手宮－札幌間）当時の停車場は数も少なく4駅でした。その4駅とは次のどれでしょうか。

1. 手宮・開運町・手稲・札幌
2. 手宮・開運町・銭函・札幌
3. 手宮・小樽・銭函・札幌
4. 手宮・朝里・手稲・札幌

問46

（ ）内に該当する語句をどれでしょうか。

幌内鉄道は明治21年、業績不振により北有社に運輸委託されましたが抜本的な経営改革は出来ず明治22年、（ ）に払い下げられました。

1. 北海道炭礦鉄道会社
2. 日本鉄道会社
3. 石狩炭礦鉄道会社
4. 東京鉄道会社

問47

幌内鉄道6号機関車「しづか」号は現在どこに保存されているのでしょうか。

1. 東京交通博物館
2. 小樽市総合博物館
3. 鉄道博物館（埼玉）
4. 交通科学館（大阪）

問48

明治の時代に港の整備方法をめぐって大論争があったときに「鯿を利用した運河式の方が便利である」と指摘し、その後の検討に大きな影響を与えた人は誰でしょうか。

問49

昭和53年7月、小樽の若者を中心に運河とその周辺の石造倉庫を舞台にした市民手づくりの祭りが行われ、小樽運河に市民の大きな関心を集めるきっかけとなりました。そのイベントの名称は何というのでしょうか。

問50

小樽運河保存運動の二代目会長となられた峯山富美さんは、小樽運河を残す運動に関わる意味を、ある言葉で問いかけられていました。その言葉は次のどれでしょうか。

1. 小樽の古い体制を壊す
2. 地方分権
3. 地域に生きるとは何か
4. 歴史の経済価値を高める

問51

東京大学の西村先生が小樽で行われた講演で、「小樽運河保存運動の5つの特徴」として指摘されたものに含まれていないものは次のどれでしょうか。

(「手宮線プラン」小樽まちづくり協議会発行：平成10年3月1日発行より)

1. 「イメージーション」のある運動
2. まちなみ保存運動の「教科書」となった運動
3. 単なる反対運動ではなく「対案提起」の運動
4. 観光のビジネスモデルを構築した運動

問52

江戸末期から明治10年代にかけて小樽で多くの人々が暮らしていた場所は現在の信香町付近ですが、明治14年5月の大火で小樽郡役所など多くの建物が焼失し、まちの中心は入船川沿いに移っていきました。この大火とはどこだったでしょうか。

1. 厩町
2. 弁天町
3. 金曇町
4. 山田町

問53

明治37年の稲穂町の大火で、主要建物の構造が大きく変わっていきました。色内町に現存する旧早川支店がその代表例です。その特長的な建物の構造を何といいますか。

問54

手宮の鉄道施設で、明治18年に建設された機関車庫の特長は次のどれでしょうか。

1. 下見板張りの西洋風の外観。
2. 火災から施設を守るため、れんがで建設した。
3. 堅牢な施設にするため、石造りにした。
4. れんがは高価なので、近郊でまかなえる軟石を積み上げた。

問55

() 内に該当する語句を記入しなさい。

旧手宮機関車庫の建設を指導したのは平井晴二郎と(A)で、さらに平井晴二郎は札幌でも(B)を設計しています。

問56

小樽は工部大学校^{ぞうか}造家科(現、東京大学工学部建築学科の前身)の第一期卒業生4人の内3人の設計した建物が現在も残る貴重なまちです。その3人とは辰野金吾、曾禰達蔵ともう一人はだれでしょうか。姓・名両方を書きなさい。(姓のみ不可)

問57

次の文章は、ある建物の特長を書いています。この建物の名称は何といいますか。

「壁をれんがで造り、玄関ホールと営業室の境に柱を使わない大空間が見所です。柱を取り除いたのは、小屋組みに鉄骨を使用したことで旧来の木造よりも軽量になったからです。」

問58

小樽区公会堂(現小樽市公会堂)に関わった人物の組み合わせで正しいのはどれでしょうか。

1. 長野宇平治・岡田信一郎
2. 藤山要吉・辰野金吾
3. 加藤忠五郎・木子幸三郎
4. 岡崎 謙・片山東熊

問59

緑山手通りの交差点は大正10年代、銀行街として栄えた所です。現在、交差点には3つの建物が残っています。旧北海道拓殖銀行小樽支店、旧三菱銀行小樽支店ともう一つの銀行名は何というでしょうか。現在は(株)トップジェント・ファッション・コアとして営業している建物です。

問60

問59の建物は、大正13年、中村田辺建築事務所の田辺淳吉が担当し、建てられましたが、田辺は渡欧して感銘を受けた華やかな装飾を小樽で表現しました。ヨーロッパで流行していたこの様式を何というでしょうか。

問61

大正期から昭和にかけて北海製罐倉庫（現北海製罐）の工場施設が建設されました。その特長で間違っているのはどれでしょうか。

1. 小樽運河の建設と同時に埋立てた出島に建設された。
2. 小樽運河の建設着工前に工場だけは建設されていた。
3. 主要な建物は鉄筋コンクリート造。
4. 工場の外観は、柱と梁で建物の骨格を現し、スチールの窓枠を納めた単純明快なデザイン

問62

昭和の住宅建築で、小樽には有名な建築家の住宅が残っています。東京の帝国ホテルを設計したライトに師事したこの建築家は、モダンなデザインで見晴町の坂邸（平成19年焼失）、富岡の高田邸、入船の坂牛邸を設計しました。この建築家の名前は何というのでしょうか。姓・名両方を書きなさい。（姓のみ不可）

問63

旧三井銀行の説明です。間違っているのはどれでしょうか。

1. 外壁に花崗岩を使用している。
2. 鉄筋コンクリート造の耐震設計。
3. 軒はルネサンスのデザインで統一している。
4. 曾禰中條建築事務所が設計した。

問64

昭和の銀行建築の説明です。該当する創建時の旧銀行名を記入しなさい。

外観は中央の大きな柱を連続させて柱の間に縦長の窓を配し、両脇に壁を設けています。平成13年には曳家で移築しました。

問65

第9回「ハイ・サービス日本300選」（サービス産業生産協議会）で、小樽から初めてサービス先進事例として選定されたこの団体は、子どもたちの社会人・職業人としての自立を促す『キャリア教育事業』や『キッズベンチャー事業』、職人業界活性化ノウハウの他地域への伝授など、人材育成や業界活性化に向けた取組みを行っています。この団体名は何というのでしょうか。

問66

小樽の職人がつくってはいないのはどれでしょうか。

1. 木型
2. 和紙
3. 注連縄
4. 印鑑

問67

小樽市内の硝子店を説明した文章です。該当する硝子店はどれでしょうか。

全国的にも有名な硝子店です。ここは明治24年に建てられた小樽商人の倉庫を店舗にしており。通路には当時のレールが敷かれています。

1. 小樽大正硝子館
2. 北一硝子3号館
3. 北一硝子5号館
4. 北一クリスタル館

問68

小樽は札幌とともに黎明期の北海道美術界で重要な美術運動が occurred しました。夏休みで帰省していた東京美術学校（現東京芸術大学）在学中の、長谷川昇、小寺健吉、工藤三郎の3人によって設立された明治期の美術団体は、次のどれでしょうか。

1. 太地社
2. 赤光社
3. 羊蹄画会
4. エルム画会

問69

大正6年、「小樽洋画研究所」を開きました。中心となったのは三浦鮮治ともう一人はだれでしょうか。

1. 長谷川昇
2. 小寺健吉
3. 兼平英示
4. 工藤三郎

問70

小樽在住で現在も活躍している画家、小川清、富澤謙はある画家の系譜に属しています。「現場主義」で知られる、その画家とはだれでしょうか。姓・名両方を書きなさい。（姓のみ不可）

問71

石川啄木が最初に小樽を訪れたのは、何年のことだったでしょうか。

1. 万延元年
2. 明治19年
3. 明治37年
4. 明治40年

問72

石川啄木の「かなしきは小樽の町よ／歌ふことなき人人の／声の荒さよ」という短歌が収められた歌集の名前は何かというでしょうか。

1. 一握の砂
2. 小樽の思い出
3. 北海流離
4. 悲しき玩具

問73

小林多喜二が小樽高商卒業後勤めたところは、現在何という名称で営業しているでしょうか。

1. 小樽バイン
2. トップジェント・ファッション・コア
3. 小樽運河ターミナル
4. ホテルヴィブラントオタル

問74

「冬が近くなると／ぼくはそのなつかし／い国のことを考えて／深い感動に捉えら／れているそこには／運河と倉庫と・・・」この碑文が刻まれた文学碑は旭展望台にあります。誰の文学碑でしょうか。

問75

次の写真は小樽港のランドマークにもなっている「きりん」のように見える大型クレーンです。このクレーンの正式名称は何というでしょうか。



問76

平成21年度上期の「小樽市観光入込客数」が平成21年11月に小樽市より発表されました。外国人観光客宿泊人数（アジア）の多い順番で正しいのはどれでしょうか。

（左から多い順）

1. 香港・台湾・韓国・中国
2. 香港・韓国・台湾・中国
3. 香港・韓国・中国・台湾
4. 台湾・韓国・香港・中国

問77

平成21年度上期の「小樽市観光入込客数」で正しい人数は次のどれでしょうか。

1. 404万人
2. 399万人
3. 376万人
4. 276万人

問78

平成21年11月に開催された第2回「おたる産 しゃこ祭」（同実行委員会主催）で募集していた、公式キャラクターの名称が決まりました。次のどれでしょうか。

1. 荒海しゃこ太郎
2. 荒海しゃこ次郎
3. 荒波しゃこ裕次郎
4. 荒波しゃこ次郎

問79

小樽には人名に由来する通り名があります。榎本武揚に関係ある通り名は次のどれでしょうか。

1. 静屋通り
2. 浅草通り
3. 梁川通り
4. 都通り

問80

小樽の潮見台浄水場管理棟の特長で正しいのはどれでしょうか。

1. 明治時代の石造建築で、市有形文化財
2. 昭和初期の正八角形の躯体、木骨石造で市有形文化財
3. 昭和初期の正八角形の躯体、赤いとんがり帽子の屋根で、市歴史的建造物
4. 大正時代のレンガ造りで道有形文化財

問81

堺町通りの山側には急ながけが続いています。「ふうど館」の向かい、「多喜二」横の小路に入ると、がけに沿って上っていく細く急な坂があり、右手には旧板谷邸があります。この坂の名称は何といいますか。

1. 三本木急坂
2. 見晴らし坂
3. 団子坂
4. いなりの坂

問82

小樽八区八景「オタモイ・赤岩地区」のおもな景観のうち、関係のないものは次のどれでしょうか。

1. 海から望む奇岩断崖
2. アオバト飛来の恵比須島
3. 山中海岸
4. 龍照寺から望む青い海

問83

第18回（平成21年度）小樽市都市景観賞が決定しました。受賞したイベントで正しいのはどれでしょうか。

1. 小樽ロングクリスマス
2. おぼん万灯会
3. おたるいか電祭り
4. おたる運河ロードレース

問84

平成21年2月5日、小樽市と友好都市提携をしたのは次のどれでしょうか。

1. 韓国 釜山
2. 韓国 ソウル特別市江西区
3. 中国 瀋陽市
4. ロシア ノボシビルスク市

問85

明治34年に制定された小樽の市章ですが、雪を表した六花の中の丸い部分は何を図案化したものでしょう。



1. 地球を図案化したもの
2. 小樽の「小」を図案化したもの
3. 小樽の「樽」を図案化したもの
4. 平和の「平」を図案化したもの

問86

次の文章は小樽市内の「市場」の説明です。何という市場でしょうか。

「戦後、樺太や満州からの引揚者が於古発川の川べりに露店を開いたのがはじまりです。」

問87

次の小樽市内の酒造会社で、創業年が一番古い会社はどれでしょうか。

1. 田中酒造(株)
2. 北海道ワイン(株)
3. (株)山二わたなべ
4. 雪の花酒造(株)

問88

小樽商科大学はもうすぐ創立100周年を迎えます。それはいつでしょうか。

1. 平成22年
2. 平成23年
3. 平成24年
4. 平成25年

問89

道指定有形文化財、にしん漁場建築を説明した文章です。()内に該当する語句を記入
しなさい。

明治から大正年間にかけて、日本海沿岸地域では(A)の漁獲で大いに賑わい、繁栄し
ました。その漁場経営者であった(B)村の田中福松が建てた住居兼作業場の母屋を昭
和33年、小樽の祝津に移築したのがこの建物です。

問90

後志地域は20市町村で構成されています。次の日本海沿岸部で現在「町」ではなく「村」は
次のどれでしょうか。

1. 寿都
2. 岩内
3. 神恵内
4. 積丹

問91

観光従事者としてはもちろん、観光産業に直接携わらないとしても、小樽市民としてどのよ
うな意識が必要でしょうか。

1. 優越感
2. 観光を形作る代表選手
3. 自分が目立つように振舞う
4. 収益主義

問92

小樽観光のネックとなっている問題がしばしば取り上げられますが、即座に改善すべき点と
して一つあげるとしたら次のどれでしょうか。

1. おみやげの価格
2. 交通機関
3. 店舗の改装
4. 無関心な態度

問93

観光従事者として、観光客をご案内するばあい、相手一人ひとりの個を尊重する心のあり方
としてどんなことに敏感である必要があるでしょうか。

1. 相手のファッションを気にする
2. 自分の個性を気にする
3. 相手の立場や痛みを感じる
4. 相手にへりくだる

問94

()内に該当する語句を選びなさい。

小樽独特の言葉や話し方は、文化の違う人々には、時として不愉快に映ることもよくあるよ
うですが、そこに(A)と気さくな(B)があれば、旅は印象深く魅力的に彩られ
ることでしょう。心のこもった(A)と、ちょっとした(B)は、最小にして最大
の(C)です。

- A 1. 笑顔 2. 細かな説明 3. マニュアル 4. アイディア
B 1. プレゼント 2. 仕掛け 3. 手紙 4. 声がけ
C 1. 演技 2. おくりもの 3. 喜び 4. おもてなし